

HOPE^{plus}

[市立芦屋病院だより]



事業管理者
新年あいさつ

医療・介護の節目の年

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆



新年おめでとうございます。

モリだのカケだのと蕎麦屋のように大騒ぎだったのが、一転衆議院解散総選挙に加えて突然の野党再編のドタバタ、選挙が終わってみれば与党の大勝でした。政権への不満も野党の自滅で消え失せたようです。ともあれ国民の選択で決まった現政権である以上、今後はその動向を注視し、安心して安全なより良い社会の構築に向けて、私たちも関心を持ち続ける必要があります。

超高齢社会を迎えて社会保障の充実、財政再建は喫緊の課題です。先延ばしにされてきた消費税増税も今度こそ実行されると予想しますが、増税によって得られた財源は本来の目的通り社会保障に充当すべきでしょう。高齢者が不安を抱かずに生活ができ、医療や介護が受けられる社会の実現こそ21世紀のわが国に課せられた使命です。もちろん少子化対策、子育て支援等の重要課題については、各種政策のスクラップ・アンド・ビルドを通して実施しなければなりません。

本年4月には2018年度の診療報酬と介護報酬の同時改定が行われ、今後の医療・介護施策の大きな節目の年となります。これまでも国は社会保障費の低減を目的に、在宅医療の推進・誘導を図り、報酬改定をその手段としてきました。今回の同時改定では診療報酬のマイナス改定等、病院とくに政策医療を重視する自治体病院にとって厳しい経営状況になることが予測されます。とは言え地域に立脚し、「生活の質(Quality of Life)の向上」を掲げる市立芦屋病院としては、地域の医療機関や療養介護施設等と密接な連携を図り、引き続き公立病院として「地域住民ファースト」の診療を提供、地域包括ケアを支援してまいります。

昨年から発足した「市立芦屋病院新改革プラン」も2年目を迎えます。外部有識者委員会のご指導を仰ぎつつ、経営の安定化とともに、救急医療・がん診療・緩和ケア医療・各種検診予防医療をはじめとして、芦屋病院ならではの特徴ある専門診療を行い、市民の期待に応えたく存じます。



陸田 誠一氏 撮影

新任Drのご紹介



主任医長

もりた みゆき

森田 美由紀

専門分野

麻酔科

趣味

映画鑑賞

先生から一言！

1月より麻酔科に赴任する事になりました森田美由紀です。患者様に寄り添いながら、安全な麻酔を行なっていきたくと思っています。

どうぞよろしく願い致します。



かしじょうみゃくりゅう

足のむくみ, 瘤の原因は下肢静脈瘤かもしれません!

外科医長 田 守 登茂治

足がむくむ、足がだるい、こむら返りで寝られないなど、足の症状で悩んでいませんか？これらの症状は「下肢静脈瘤(かしじょうみゃくりゅう)」が原因かもしれません。

下肢静脈瘤とは、足の表面を走行する静脈が、ぼこぼこ瘤(こぶ)のように盛り上がった、血管が網目状に浮き上がる疾患です。下肢静脈瘤は、基本的には自然に回復することはありません。症状の進行はゆっくりであることが多いのですが、時間の経過とともに少しずつ悪化します。そして重症化すると皮膚潰瘍などが発症して、治療が困難になることもあります。

こむら返りや足のむくみなどの症状以外に、見た目が気になり足を出せない、温泉に入るのをためらうなど、外見の悩みが深刻な場合もあります。また下肢静脈瘤は、非常に多くの方が発症されており、40歳以上の約10%、妊娠出産経験者の約50%が発症していると言われています。

歴史的にも古くから記載があり、古代エジプトや古代ギリシャ時代から下肢静脈瘤が報告されています。もちろん、その時代には発症要因はわかりませんでした。現在は静脈内の弁が悪くなって血液が逆流することが、主な原因であると考えられています。

まずは、むくみや瘤の原因が静脈によるものなのか、動脈や血栓によるものなのかを調べるために、超音波検査やMRI検査などが必要となります。

なお、治療方針は手術だけでなく、弾性ストッキングを着用することで症状が改善し、進行を防ぐことができる場合がありますので、お気軽にご相談ください。



下肢静脈瘤外来は毎週火曜日の午後に診察を行っています。

受診希望の方は、電話でも予約が可能です！ TEL 0797-31-2156 (予約センターにて予約を受付しています)

『セカンドオピニオン外来』をご存知ですか？



「セカンドオピニオン」とは、患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、治療の進行状況、次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。例えば、担当医から説明された診断や治療方針について、納得のいかないこともあるかもしれません。「別の治療法はないのか」と思う場合もあるでしょう。セカンドオピニオンを受けることで、担当医の意見を別の角度からも検討することができ、もし同じ診断や治療方針が説明された場合でも、病気に対する理解が深まります。また、別の治療法が提案された場合には選択の幅が広がることで、より納得して治療に臨むことができます。

当院では市立芦屋病院以外の医療機関に入院または通院されている患者さんを対象に、当院の専門医が患者さんの主治医からの情報などをもとに、診断内容や治療法等に関して助言を行うことを目的に「セカンドオピニオン外来」を実施しています。この外来では検査や治療は行いませんので、患者さんの主治医からの情報提供書(紹介状)が必要となります。セカンドオピニオンの対象者は患者さんご本人との相談を原則としますが、事情により本人が来院できない場合は、ご家族でもお受けしています(※患者さん本人の同意書が必要になります)。

セカンドオピニオン外来を受診するには、当院地域連携室へ電話により予約申込みをしてください。予約申込時にご相談の概要をお聞きし、ご用意いただきたい書類、料金などについてご案内します。

セカンドオピニオン外来
に関するお問い合わせ

市立芦屋病院 地域連携室
0797-31-2156 (代表)

検診のお知らせ

休日がん検診
の開催

平日は忙しい方も、日曜日にがん検診が受けられます！
早期発見のため、是非この機会にご受診ください。



※検診無料クーポン券を利用出来ますので、お持ちの方は必ずご持参ください。

- 乳がん検診視触診・エコー併用 …… 6,070円
5名程度 (30~39歳までの市民)
- 乳がん検診マンモグラフィー併用 …… 2,000円
(40歳以上の市民)
- 子宮頸がん検診 …… 1,000円
(問診・細胞診 20歳以上の市民)
- 胃がんリスク評価 (採血) …… 4,860円
- 肺がん検診 (CT撮影) …… 8,640円
- 大腸がん検診 (便潜血) …… 1,620円
- 肝炎ウイルス検診 (採血) …… 3,600円
- 前立腺がん検診 (採血) …… 6,750円

日時 2月18日(日)
午前9時~正午

会場 市立芦屋病院

申込み 下記まで
(事前予約制)

問合せ 市立芦屋病院
医事課検診担当
TEL 0797-31-2156(代表)



各種行事のお知らせ

マチネーコンサート ※毎月1回日曜日に開催

- 日時** ● 1月14日(日)14時30分~
- 場所** ● 外来ホール 黄色いピアノ前
- 出演** ● 木田雅子(ヴァイオリン)
金澤佳代子(ピアノ)
- 問合せ** ● 総務課



※2月のマチネーコンサートはお休みです。

冬の公開講座



時間 14時~15時30分 **場所** 芦屋市民センター401号室 **参加費** 1回 200円

日程	内容	講師
1月6日(土)	緩和ケアをめぐる最近の動き	緩和ケア内科 松田良信 医師
2月3日(土)	痛みをがまんしていませんか? ~首と肩の痛みに対する治療を中心に~	やなもとペインクリニック 柳本 富士雄 医師
3月3日(土)	痛みの種類とその対処法	整形外科 荒木 信人 医師

問合せ：芦屋市立公民館 (0797-35-0700)

両親学級 ※毎月第2土曜日開催

- 日時** ● 1月13日(土)10時~12時
- 場所** ● 3階東病棟
- 内容** ● お産の経過・赤ちゃんとお風呂
- 対象** ● 妊娠22週以降の妊婦とパートナー5組
- 問合せ** ● 産婦人科外来
(電話は13時~16時)



糖尿病教室 問合せ先：栄養管理室 ※毎月第2金曜日開催

時間 13時30分~15時 **場所** 病棟2階 講堂I **参加費** 無料

日程	内容	講師
1月12日(金)	糖尿病性腎症について 腎臓の機能にあわせた運動	医師 理学療法士
2月9日(金)	糖尿病患者さんの皮膚の病気 自分でできるスキンケア・専門家にまかせたいスキンケア 糖尿病の薬物療法について (注射薬)	医師 看護師 薬剤師
3月9日(金)	糖尿病総まとめ	医師、看護師、薬剤師など 医療スタッフ

ホスピタルフェスタを開催しました！

11月12日に「あしやホスピタルフェスタ2017」を開催しました。

病院のリニューアルオープンに伴い、平成25年度から開催を始めたホスピタルフェスタも5回目となり、イベント自体を知っている市民の方も随分増えたように思います。毎年、職員が芦屋病院を身近に感じていただけるよう様々な企画を準備しています。今年も11月頃に開催予定ですので、ぜひ芦屋病院へお越しください！

昨年の様子



事業管理者

のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆

犬は安産？

今年2018年の干支は戌戌(つちのえいぬ)で、戌は犬のことです。犬のルーツはオオカミというのが定説で、数万年前から犬は家畜として人類と深い関係を保ってきました。犬・猫と対で扱われることの多い猫も5千~1万年前に家畜化したようですが、そのサイズや種類は圧倒的に犬が優勢で、小型犬から大型犬まで一説では約800種もあるといえます。人の性格を犬人間と猫人間に二分するテストなどがありますが、犬タイプは、社交的で周囲に合わせて集団行動を好み、のんびり屋の一方ではっきり物をいう献身的なタイプだといえます。

人間と関わりの深い犬だけに、古今東西犬にまつわる表現やことわざも少なくありません。「犬も歩けば棒に当たる」は、いろは歌留多のいの一番に出てきて「犬棒歌留多」の別名があるくらいです。これには、出しゃばると思われ災難に遭うという意味と、あちこち歩いていると意外な幸運に巡り会うとの二通りの解釈があります。最近では後者つまり幸運との出会いを表すようです。「犬骨折って鷹の餌食」は、鷹狩りで犬が追い出した獲物を鷹に横取りされることを言い、「トンビに油揚げ」「骨折り損のくたびれ儲け」を意味します。犬にとって決していい表現ではありません。また「一犬(いっけん)影に吠ゆれば万犬(ばんけん)声に吠ゆ」は、一匹の犬が何かの影におびえて吠えだすと他の犬も一緒になって吠えだることから、一人が不確実なことを言い出すとそれを世間が広めてしまうという意味で、中国の古典に基づいています。ここでも犬は不名誉な使われ方です。「吠える」といえば、英語のことわざで「A barking dog never bites. (吠える犬は決して噛みつかない)」があります。臆病な人間や愚かな人間は大声をあげて虚勢を張るという意味で、英語のことわざでも犬は軽蔑され悪い意味に使われることがほとんどです。

しかし英語でも「A live dog is better than a dead

lion. (生きている犬は死んだライオンよりましだ)」の表現があり、犬が名誉回復しています。いくら百獣の王でも死んでは一文にもなりません。このことわざで、第二次世界大戦中にドイツ軍にドーバー海峡ダンケルクに追い詰められた英仏連合軍の、イギリスへの決死の脱出を描いた映画「ダンケルク」を思い浮かべました。官民あげての撤退作戦で、武器を捨てほとんど丸腰とはいえ、数十万人の兵士が奇跡的にイギリスに帰還出来ました。惨めな敗残を悔やむ兵士に対して、市民が「生きて帰っただけで十分だ」という言葉が印象的で、まさに「a live dog」です。彼らが生還したからこそ、のちのノルマンディー上陸・反攻につながったのです。

犬は安産と信じられています。思うに人間にとって身近な存在の犬が、人の助けもなしに何匹もの仔犬を次々と出産する様子を見てきたからでしょう。戌の日に安産祈願の寺社にお参りする妊婦もたくさんいます。私の若い頃など産婦人科に乳業会社や製薬会社がノベルティとして持参するカレンダーには、必ず戌の日にスタンプが押されていました。妊婦が助産師に腹帯指導を受ける日は、たとえ象牙の塔の大学病院であっても戌の日だったからです。もちろん科学的根拠はありません。安産と信じられている犬であっても、犬種によっては帝王切開でないと出産が不可能な犬がいます。とくにペットとしての犬は品種改良が進み、母体骨盤や胎仔頭部のアンバランスから自然分娩が困難で難産になる症例が増えてきています。犬の安産伝説も不変ではありません。

(2018.1.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧ください。

市立芦屋病院 ご案内

●●●交通案内●●●

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

TAXI 約7分

バス 約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番

徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

市立芦屋病院の理念

病院理念
あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念
芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します

日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>